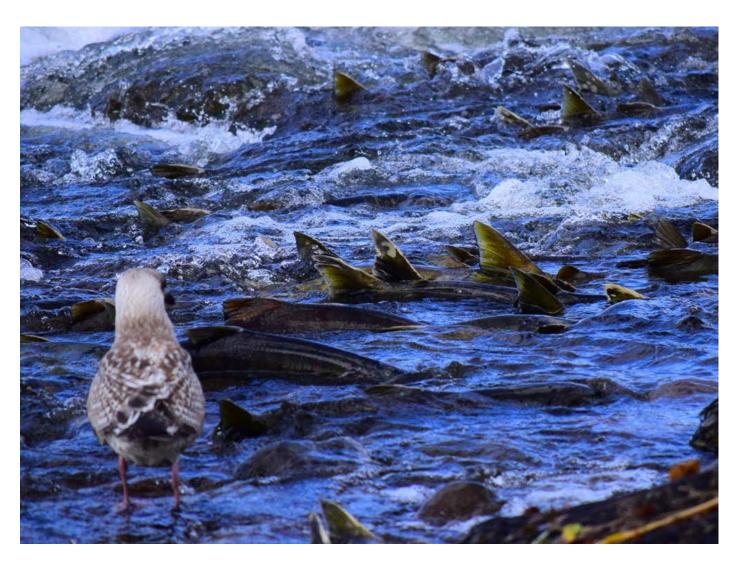


# 增 毛 町 勢 要 覧 資 料 編 〈令和4年〉



増毛町フォトコンテスト2021最優秀賞「遡上」(外賀新一さん)

## 1. 自然・地勢



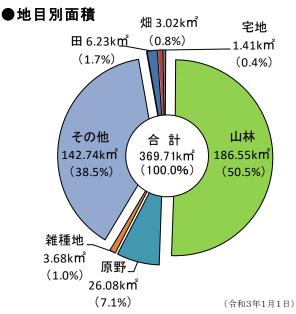
●面積・位置

面積	位	置		
山 惧	経度(東経)	緯度(北緯)		
	最東141°42′17″	最南 43°41′04″		
369.71km²	(東仁奈良)	( 群別岳東南 )		
309.71KIII	最西141°20′15″	最北 43° 54′ 12″		
	( 魹 島)	(阿分一番村川岸)		

増毛町は、北海道の北西の日本海に面し、留萌振興局管内 の南端に位置しています。

東は留萌市、南は暑寒別岳を主峰とする増毛山地を囲む形で、北竜町・雨竜町・新十津川町・石狩市に接しています。

南北に約24.4km、東西に約30.2km、北西には約38kmの海岸線を有し、総面積は369.71 で東京都の約6分の1の広さですが、半分は山林となっています。





増毛町フォトコンテスト2021学生の部最優秀賞「夕映えの水田」(工藤奏人さん)



増毛町フォトコンテスト2021優秀賞「思い出に刻む夏花火」(龍川悠平さん)

山地から北流する河川は、短く急流で狭い堆 積平野をつくり、この平野と海岸線に集落が発 達しました。

沿岸は豊富な魚類に恵まれ、古くから漁業で 栄え、また、温暖な気候により、肥沃な平坦地 では水稲・果樹栽培などの農業も盛んです。

別苅から雄冬までの海岸は、暑寒別連峰の山 裾を日本海の荒波が削った豪壮な絶壁が約20km にわたって続いており、奇岩・怪岸の海蝕崖と して、暑寒別天売焼尻国定公園の重要な景勝地 となっています。

気候は、概して日本海岸気候の特徴を有し、 年間を通じて風の強い日が多く、特に冬季はし ばしば暴風雪となります。四季における気候 は、冬季が湿潤寒冷で、夏季は短いものの気温 は高く、春季及び初夏には空気が乾燥し、晩夏 から秋にかけて多雨となります。

#### ●気温・降水量・風速・積雪

(令和3年)

				(令和3年)		
	平均気温	月最高気温	月最低気温	降水量	平均風速	最深
	(℃)	(℃)	(℃)	(mm)	(m/s)	(cm)
1月	-3.9	6.4	-11.6	30.0	6.6	80
2月	-2.1	6.8	-12.4	51.0	6.9	72
3月	2.7	17.1	-11.1	36.0	4.3	81
4月	6.8	17.5	-3.4	99.5	4.5	_
5月	11.7	23.4	3.0	61.0	3.6	-
6月	16.9	27.2	5.5	36.0	2.9	-
7月	22.4	32.1	16.1	0.5	2.2	_
8月	22.0	34.2	11.9	71.0	2.9	_
9月	17.8	27.4	9.4	88.0	2.9	_
10月	11.9	23.3	2.5	282.5	4.3	_
11月	7.2	16.7	-0.7	244.5	5.7	9
12月	0.0	14.7	-12.3	123.0	6.9	111
令和3年平均	9.5			93.6	4.5	
令和2年平均	9.2			91.7	4.3	
令和元年平均	9.0			69.8	4.6	
平成30年平均	8.6			110.0	4.5	
平成29年平均	8.2			68.5	4.5	

旭川地方気象台データより (※最深積雪値は、留萌市データを参考記載)

●**暑寒別天売焼尻国定公園の概要** (平成2年指定、全国56番目)

(単位:ha)

一日本かり			<b>X</b> (17X27	1月1年、王国6	O.E. D /				(+ 2:114)
暑		寒	寒    別		地 域			天売焼尻地域	6 市 町
石 狩 市	厚 田 区	浜 益 区	新十津川町	雨竜町	北 竜 町	増毛町	小 計	羽幌町	合 計
8,686	504	8,182	7,020	7,080	1,846	17,846	42,478	1,081	43,559

#### ●人口の推移

(令和2年国勢調查)

	(年国勢調査)			
調査年	J			世帯数
, H	男	女	計	11.3
昭和 10 年	5,347	5,544	10,891	2,108
昭和 15 年	4,770	5,008	9,778	1,903
昭和 20 年	6,773	7,224	13,997	2,656
昭和 25 年	8,283	8,269	16,552	2,764
昭和 30 年	8,352	8,416	16,768	2,817
昭和 35 年	7,226	7,431	14,657	2,850
昭和 40 年	6,318	6,745	13,063	2,912
昭和 45 年	5,216	5,746	10,962	2,851
昭和 50 年	4,349	4,963	9,312	2,727
昭和 55 年	3,895	4,424	8,319	2,693
昭和 60 年	3,753	4,258	8,011	2,686
平成 2年	3,328	3,838	7,166	2,606
平成 7年	3,060	3,592	6,652	2,512
平成 12 年	2,797	3,370	6,167	2,461
平成 17 年	2,563	3,145	5,708	2,389
平成 22 年	2,295	2,783	5,078	2,208
平成 27 年	2,024	2,473	4,497	2,051
令和 2年	1,776	2,132	3,908	1,878

※国勢調査の人口・世帯数:総務省統計局発表のデータより

#### ●住民基本台帳人口

(各年3月31日)

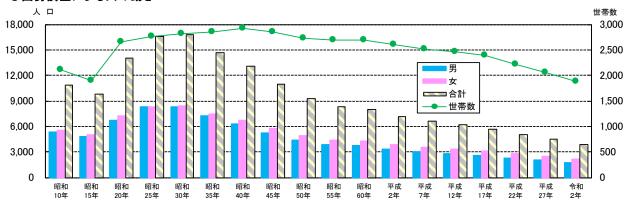
調査年	男	女	人 口 総 数	世帯数	1世帯当 たり人員
平成24年	2,323	2,753	5,076	2,514	2.02
平成25年	2,316	2,747	5,063	2,547	1.99
平成26年	2,253	2,705	4,958	2,533	1.96
平成27年	2,192	2,630	4,822	2,460	1.96
平成28年	2,146	2,547	4,693	2,413	1.94
平成29年	2,072	2,465	4,537	2,368	1.92
平成30年	2,004	2,388	4,392	2,322	1.89
平成31年	1,953	2,330	4,283	2,273	1.88
令和2年	1,913	2,271	4,184	2,242	1.87
令和3年	1,860	2,215	4,075	2,217	1.84

※住民基本台帳法の一部を改正する法律が平成24年7月9日に施行されたため、外国人 登録制度は廃止され、外国人についても住民基本台帳の適用対象となりました。

昭和20年代後半から30年代後半にかけて1万6千人を数えた人口は、減少の一途をたどり、令和2年の国勢調査では昭和30年と比べて4分の1以下となっています。

また昭和30年の国勢調査では平均世帯員数は6.0人ですが、 令和2年では2.1人となり、核家族化が進んでいます。

#### ●国勢調査による人の動き





令和4年1月9日開催 成人式

#### ●男女別・年齢別人口

(令和3年3月31日)

C 33 2 477.				(令和3年3月31日)			
年 齢	ì	男	女	計	比 率		
0~ 4	歳	32	45	77	1.9%		
5∼ 9	歳	62	53	115	2.8%		
10~14	歳	80	54	134	3.3%		
15~19	歳	80	68	148	3.6%		
20~24	歳	63	67	130	3.2%		
25~29	歳	61	66	127	3.1%		
30~34	歳	71	68	139	3.4%		
35~39	歳	92	82	174	4.3%		
40~44	歳	86	98	184	4.5%		
45~49	歳	135	121	256	6.3%		
50~54	歳	128	110	238	5.8%		
55~59	歳	137	137	274	6.7%		
60~64	歳	127	135	262	6.4%		
65~69	歳	159	201	360	8.8%		
70~74	歳	189	236	425	10.4%		
75~79	歳	134	192	326	8.0%		
80~84	歳	87	178	265	6.5%		
85~89	歳	91	165	256	6.3%		
90歳 以上		46	139	185	4.5%		
合 計		1,860	2,215	4,075	100.0%		

#### ●地域別世帯数及び人口

(令和2年国勢調査)

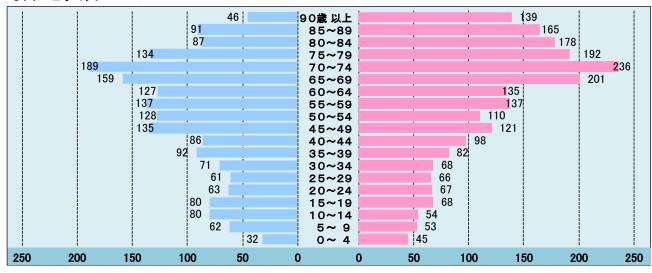
地	域	男	女	人 口総 数	世帯数	1世帯当 たり人員
雄	冬	18	16	34	17	2.0
岩	老	9	5	14	7	2.0
別	苅	156	204	360	187	1.9
暑 3	寒 沢	44	47	91	36	2.5
市	街	1,061	1,256	2,317	1,136	2.0
中	歌	17	17	34	16	2.1
見	青 町	78	118	196	70	2.8
湯	の 沢	8	6	14	6	2.3
箸	別	49	67	116	54	2.2
舎	熊	169	189	358	178	2.0
阿	分	115	161	276	125	2.2
信砂	• 御料	52	46	98	46	2.1
THILE.	#	1,776	2,132	3,908	1,878	2.1

注:見晴町は、老人ホーム明和園を含んでいます。

年齢構成では65歳以上の人口が44.6%と高齢化が進んでおり、人口ピラミッドでみると、65歳以上の女性が特に多くなっており、女性の高齢化率は50.2%となっています。

また、人口の約6割が市街地区に居住しています。

#### ●人口ピラミッド





増毛町フォトコンテスト2021学生の部優秀賞「増毛町といえば」(柏谷梓早さん)

## 3. 町議会・行政組織





議長 飛内 眞吾



副議長 小田 緑

#### ●歴代 議会議長

代位		氏	名		就(	任 年	月	日
1	加	納	次 太	郎	昭和	和 21.	10.	27
2	池	田	良	作		22.	5.	15
3	田	谷	克	三		30.	5.	13
4	毛	利	賢	蔵		38.	5.	10
5	本	間	泰	次		39.	1.	23
6	北	野	繁	夫		46.	5.	6
7	小	笠 原	秀	夫		47.	12.	1
8	佐	々木	清	治		58.	5.	9
9	清	野		勇	平)	成 11.	5.	7
10	佐	藤	善	_		23.	5.	9
11	飛	内	眞	吾	令	和 元.	5.	8

#### ●議会議員

#### 任期:令和元年5月1日~令和5年4月30日

議席	議員名	職業	党派	所属委員会	当選 回数
1	合羽井 達男	会 社 役 員	無所属	総務	1
2	川島優	無職	無所属	産業	1
3	酒 井 倫 明	無職	無所属	総務○・議運◎	2
4	大井紀美惠	会 社 員	無所属	産業◎	2
5	松倉清道	会 社 役 員	無所属	総務◎・議運	3
6	上 野 剛	無職	無所属	産業○・議運	4
7	菅 原 幸 弘	税理士事務所員	無所属	産業・議運	4
8	西山征二	クリーニング取次	無所属	産業	5
9	岩 崎 俊 一	小 売 業	無 所 属	総務・議運○	7
10	小 田 緑	会 社 役 員	無 所 属	副議長・総務・議運	5
11	飛 内 眞 吾	漁業	無所属	議長	5

※総務-総務文教常任委員会/産業-産業厚生常任委員/議運-議会運営委員会 ◎委員長、○副委員長

#### ●歴代 議会副議長

代位		氏	名		就 任	年	月	日
1		不	明					
2	水	戸	徳	司	昭和	22.	5.	15
3	堀	Ш	寛	_		25.	8.	13
4	上	原	福 太	郎		30.	5.	13
5	毛	利	賢	蔵		34.	5.	8
6	本	間	泰	次		38.	5.	10
7	佐	々木	清	治		39.	1.	23
8	北	野	繁	夫		40.	4.	30
9	佐	々木	清	治		46.	5.	6
10	Ш	向	之	夫		47.	12.	1
11	富	野	安	造		58.	5.	9
12	南		博	之	平成	11.	5.	7
13	佐	藤	善	_		15.	5.	8
14	岩	崎	俊	_		23.	5.	9
15	小	田		緑	令和	元.	5.	8

#### ●町議会審議の状況

議会事務局調(令和3年1月1日~令和3年12月31日)

<u> </u>	PH PM 1	J 110-				成云事伤问问(节和3年1月1日 * 节和3年12月31日)				
	開催回数	会議	審		議	案		件		
区分		日数	条 例	予 算	決 算	専 決 処 分	その他 事件	計	決 議 意見書	請 願 陳 情
定例会	4	7	18	42	11		14	85	5	1
臨時会	3	3	1	1		1	6	9		
計	7	10	19	43	11	1	20	94	5	1



副町長 石垣 芳夫



町長 堀 雅志



教育長 佐藤 敏治

## ●歴代 町長

代位		氏	名		就 任	年 月 日
1	蔭	Щ	逸	夫	明治	33. 9.17
2	水	谷	嘉一	- 郎		37.12. 1
3	大	浦		頼	大正	4. 4.12
4	御	厨	三	郎		8. 9. 3
5	石	Ш	七	郎		10. 9.17
6	勝	田	誠	_		13. 3.20
7	加	納	宇	平	昭和	8. 8.19
8	北	畠	良	_		12. 12. 30
9	尾	谷	清 四	郎		16. 12. 20
10	中	江	庄 三	郎		21. 2. 7
11	東	尾	淡	逸		22. 4. 8
12	中	江	庄 三	郎		30. 5. 1
13	前	田	尉太	郎		38. 5. 1
14	本	間	泰	次		50. 5. 1
15	石	崎	大	輔	平成	11. 2.13
16	堀		雅	志		27. 2.13

#### ●歴代 収入役

	-	***					
代位		氏	名		就 任	年	月日
1	長	谷 川		済	明治	39.	9.20
2	和	井 内	喜	之		41.	3.31
3	佐	藤	平 太	郎	大正	5.	1.11
4	佐	藤	兼	次		13.	1.30
5	竹	Щ	福	三	昭和	7.	2. 2
6	末	永	議	資		13.	9. 29
7	安	達	多仁	治		16.	2. 3
8	小	杉	善一	郎		22.	5. 15
9	西	Ш	勝	_		30.	6.29
10	押	味	清	_		46.	9.18
11	梅	田	忠	夫		52.	7. 1
12	Щ	崎	末	吉		63.	4. 1
13	松	本		弘	平成	5.	4. 1
14	村	木	忠	夫		11.	4. 1

※平成15年4月1日以降は副町長(助役)が兼掌 ※平成19年3月31日で収入役制度は廃止

# ●選挙有権者 (町選挙管理委員会 毎年9月1日)

区分	投票	登 録	者 数 (	(人)
	区数	総数	男	女
平成 29 年	9	3,956	1,779	2,177
平成 30 年	9	3,848	1,734	2,114
令和 元 年	9	3,748	1,688	2,060
令和2年	9	3,629	1,645	1,984
令和3年	9	3,541	1,600	1,941

## ●歴代 副町長(助役)

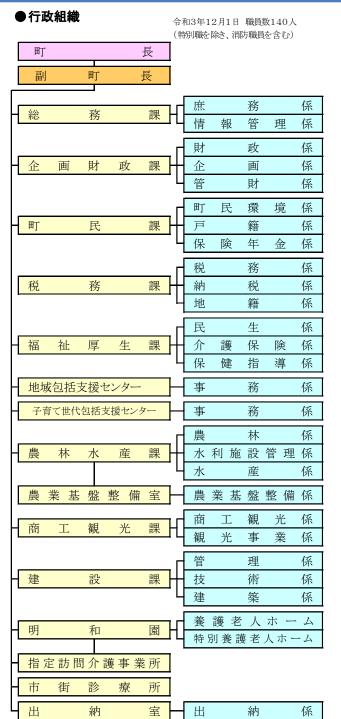
代位		氏	名		就 任	年	月	日
1	樋		金	蔵	明治	33.	9.	17
2	我	孫 子	利三	三郎		39.	10.	18
3	高	橋	竜 太	郎	大正	4.	8.	6
4	田	村		栄		12.	11.	20
5	佐	藤	敬之	助		13.	12.	27
6	東	尾	淡	逸	昭和	8.	10.	10
7	Ш		時 一	- 郎		17.	7.	10
8	青	野		績		21.	5.	31
9	安	達	多仁	治		22.	5.	15
10	帰	Щ		貢		24.	10.	28
11	前	田	尉 太	郎		29.	5.	27
12	長	屋	清	作		38.	8.	19
13	大	室	重	二		46.	9.	18
14	南		平	作		52.	7.	1
15	三	上	晴	夫	平成	3.	5.	21
16	朝	倉	宜	廣		11.	3.	5
17	佐	藤	順	治		15.	3.	5
18	酒	井	倫	明		23.	3.	5
19	石	垣	芳	夫		27.	4.	1

H19.4.1 名称変更

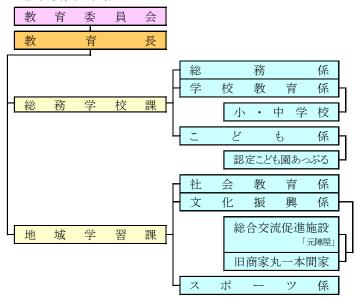
#### ●歴代 教育長

代位		氏	名		就 任	年	月	日
1	帰	Щ		貢	昭和	27. 1	1.	1
2	米	田	秀	蔵		44.	4.	1
3	佐	々木	孫	作		52.1	0.	1
4	黒	瀧	善	雄		60.1	0.	1
5	別	段	正	道	平成	5.1	0.	1
6	佐	藤	順	治		13.1	0.	1
7	雨	野	正	治		15.	4.	1
8	尾	池	宏	実		21.1	0.	1
9	荻	原	太	康		25.	4.	1
10	佐	藤	敏	治		27.	4.	1

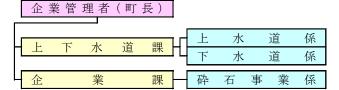




#### ●教育委員会組織



#### ●公営企業



#### - 各種委員会等事務局 —

- ●議会事務局
- ●選挙管理委員会事務局
- ●監査委員事務局
- ●農業委員会事務局

#### ●各地域の指定状況

- 豪雪地带対策特別措置地域
- •特定農山村地域
- 過疎地域

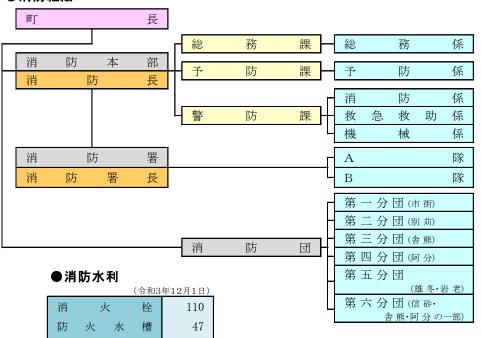
昭和46年10月 2日 第41号 平成 5年 9月28日 第72号 平成22年 3月17日 第3号

#### 消防団訓練



## 4. 消 防·防災

#### ●消防組織



#### ●消防人員

(令和3年12月1日)

			11/11/0-	F12月1日)
	区	分		人数
	司	令	長	1
職	司		令	4
	司	令	補	5
	士		長	3
	副	士	長	5
員	消	防	士	2
		計		20
	団		县	1
団	副	団	長	2
	分	団	長	6
	副	分 団	長	7
	部		長	14
	班		長	27
員	団		員	39
		計		96

## 指 定 水 利 ●火災発生状況

消防用水路 その他の消防用

区 分	火災 件数	損害額(千円)	焼 失 面積(m²)
令和 元 年	5	864	2,530.60
令和2年	3	20	462.00
令 和 3 年	3	19	229.00

3

24

#### ●消防ポンプ自動車等の現有数 (令和3年12月1日)

	大	型	水	槽	車	1
消	水		槽		車	1
•	消	防	ポン	プ	付	1
防	救	助	工	作	車	1
	作		業		車	1
署	指		揮		車	1
	救		急		車	2
消吐	小型	型ポン	ノプト	<b>計積</b>	し 車	5
防 団	普	通ポ	ンプ	自 動	車	1

#### ●救急出動件数

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働 災害	運動競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
令和 元 年	0	0	1	26	1	0	60	1	1	179	5	228
令和2年	0	0	0	5	3	1	29	0	1	134	7	180
令和3年	1	0	1	7	1	0	42	0	1	144	2	199

Fire Rescue E.M.S.

#### ●指定緊急避難場所

<b>●</b> 18	<b>化术心虹和物</b> 加	
No.	名 称	所 在 地
1	旧阿分小学校	阿 分
2	旧舎熊小学校	舎 熊
3	町道朱文別道路線・揚水機場の上	舎 熊
4	箸 別 跨 線 橋 付 近 広 場 (町道箸別2 号道路線の国道交点付近)	箸 別
5	湯の沢会館付近	箸 別
6	町民グラウンド	見晴町
7	旧増毛小学校グラウンド	見晴町
8	増毛中学校グラウンド	南暑寒町
9	増毛小学校グラウンド	南暑寒町
10	小 樽 間 内 会 館	別 苅
11	オーベルジュましけ	別 苅
12	岩尾温泉あったま~る駐車場	岩 老
13	旧雄冬自然体験館グラウンド	雄冬

#### ●指定避難所

<u> </u>	<b>化难無</b> 別	
No.	名称	所 在 地
1	旧阿分小学校	阿 分
2	元 阿 分 福 祉 会 館	阿 分
3	信砂生活改善センター	信 砂
4	旧舎熊小学校	舎 熊
5	笹 沼 会 館	舎 熊
6	箸 別 生 活 館	箸 別
7	増 毛 中 学 校	南暑寒町
8	文化センター	南畠中町
9	オーベルジュましけ	別 苅
10	小 樽 間 内 会 館	別 苅
11	海 音 寺	別 苅
12	大 別 苅 自 治 会 館	別 苅
13	岩尾へき地保健福祉館	岩 老
14	旧雄冬自然体験館	雄冬

増毛町は、ニシン漁を中心とする漁業で 栄えましたが、昭和30年をピークに人口は 減少し、昭和40年まで過半数を占めていた 第一次産業の就業人口も減退していきま した。

過疎化に伴い、水産加工業を主とした製 造業や、卸売・小売業も減少しております が、「増毛の歴史的建物群」が北海道遺産 に指定されてからは、旧増毛駅周辺の観光 客は増加傾向にあり、新しい飲食店が開業 するなどの賑わいを見せ始めています。



5月下旬に開催される「春の味まつり」



●産業別就業者数

小

小

気

設

造

熱供給・水道業 通信・運輸業

卸 売 ・ 小 売 業

飲食店・宿泊業 金融 · 保険業

医療·福祉

教育・学習支援業

複合サービス事業

サービス業

務な

類 不 能 産

計

小

合

産

業

業

計

ガ

鉱

建

製

第 林

次

第

次

第

3 不 動

次

●商業

(平成27年国勢調査)

95

100

195

21

219

240

2

193

10

206

46

16

35

27

544

980

計

201

296

505

210

315

526

12

87

311

19

5

255

79

51

112

133

1,064

2,098

8

男

106

196

310

189

96

286

10

80

118

49

33

35

77

106

520

1,118

8

業

業

業

業

業

業

(単位:人、百万円) 亚 成 24 年 平 26 年 平 成 28 産業別分類 卸売業 小売業 総 数 卸売業 小売業 総 数 卸売業 小売業 総 数 事業所数 7 44 51 41 50 48 41 従業員数 29 161 190 30 182 212 35 144 179 年間販売額 2,882 4,773 2,369 5,366 8,248 4,179 3,702 7,881 7,142

H24 「経済センサス」 2月1日現在

H26 「商業統計調査」 7月1日現在 ※これを以って「商業統計調査」は廃止

H28 「経済センサス」 6月1日現在

(単位:人、万円)

	~				(-	中国・ハ、カール
区 分				平成 29 年	平成 30 年	令和 元 年
事	業	所	数	9	11	11
従	業	員	数	360	410	421
製品	等	出荷	方額	913,466	1,101,217	1,077,433

「工業統計調査」より

●産業団体

(令和3年12月1日)

団 体 名	組合員及び 会員数	役員	職員
増 毛 漁 業 協 同 組 合	120 (5)	11	15
るもい農業協同組合 増毛支所	90 [195]	1	9
増 毛 水 産 加 工 協 同 組 合	6	5	1
増 毛 町 商 工 会	162 (15)	19	4

※()は準組合員で内数 []は準組合員で外数

#### ●砕石生産高

町営黒岩砕石事務所分

(金額単位:千円)

区分	平成3	0 年 度	令和元年度		令和2年度	
	数量(m³)	金額	数量(m³)	金額	数量(m³)	金額
切込砕石	12,610	21,334	10,852	18,834	9,754	18,004
篩 砕 石	6,873	19,243	9,263	25,712	8,670	23,143
割石	21,227	49,927	20,944	58,561	26,225	73,455
計	40,710	90,504	41,059	103,107	44,649	114,602

説明:切込砕石…石粉の入っているもの / 篩(ふるい)砕石…石粉の入っていないもの 割石…大割・中割・小割・雑割

●観光客入込数

(単位:千人)

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
328	306	305	312	215

増毛町は、北緯43度以北に位置しながらも、日本海を流れる対馬海 流による温暖な気候と、暑寒山麓に囲まれた扇状地帯の良質な水に恵 まれているため、果樹と稲作を中心に農業が営まれています。

果樹は、さくらんぼ、りんご、ブドウ、洋梨など、甘味と旨味の良 い果物が収穫されています。

また、お米は、「ななつぼし」や「ゆめぴりか」が主に作付けされて います。

#### ●経営耕地別面積

	区 分	面積(ha)	割合(%)
田	稲作等を行った	334.0	67.47
Щ	小 計	334.0	67.47
	普 通 畑	77.0	15.56
畑	牧草専用地	0.0	0.00
	小 計	77.0	15.56
	樹 園 地	84.0	16.97
	合 計	495.0	100.0

「2020年 農林業センサス」

#### ■農作物の作付け而積・収穫量

	DC 117 173	<u> </u>	<u> </u>	<u>X</u>			
区	分	平 成	30 年	令 和	元 年	令 和	2 年
	2 93	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
水	稲	243	1,050	233	1,180	229	1,160
そ	ば	130	26	129	120	126	101

「北海道農林水産統計年報」

(単位:ha、t)

## ●年齢別農業世帯員数

区分	14 歳以下	15 ~ 24 歳	25 ~ 34 歳	35 ~ 44 歳	45 ~ 54 歳	55 ~ 64 歳	65 ~ 74 歳	75 歳 以上	計
男	7	3	3	10	9	8	21	20	81
女	9	3	3	10	7	8	23	15	78
計	16	6	6	20	16	16	44	35	159

「2020年 農林業センサス」(販売農家のみ・家族経営の世帯員)

## ●経営耕地面積規模別経営体数

79

		-								
		0.3ha	0.3~	1.0~	2.0~	3.0∼	5.0~	10.0~	20.0~	30.0ha
区 次	Ī	未満	1.0ha	2.0ha	3.0ha	5.0ha	10.0ha	20.0ha	30.0ha	以上
販売農家	61	0	7	9	9	10	11	8	5	2
白纱的典字					Γ	2020年	農林業も	ンサス」		

#### ●森林面積

(令和3年4月1日/単位:ha)

区分	総数	国有林	道有林	町有林	私有林
森林面積	33,269	11,253	14,633	1,585	5,798
天然林	25,272	9,152	12,495	676	2,949
人工林	5,270	919	890	848	2,613
無立木地	2,727	1,182	1,248	61	236

※端数処理のため、総数と内訳が一致しない場合があります。



増毛町フォトコンテスト2021優秀賞「希望の花~アイノカタチ~」(石田めぐみさん)

増毛町は、江戸時代中期から豊富な水 産資源に恵まれ、漁業のまちとして栄え てきました。現在は、えび・たこ・鮭・ カレイなどの漁業を中心とし、特に甘え びは航空便輸送により鮮度が保たれ、都 市部においても高い評価を得ています。

近年の漁業をめぐる環境や、後継者不 足という問題対策のために、磯焼け対 策、栽培漁業の推進、新たな漁場の造成 や後継者育成のための経営基盤の強化 などに取り組んでいます。

#### ●さけ 親魚捕獲・稚魚放流・採卵実績 (単位:親魚[尾] 稚魚[千尾] 採卵[千粒])

信砂川 暑寒別川 計 区分 親捕 元 14,016 17,193 31,209 2 16,537 15,038 31,575 魚数 2,907 10,467 3 13,374 稚放 9,200 5,400 14,600 元 流 10,811 5,586 16,397 魚数 10,118 5,829 15,947 3 元 10,462 13,823 24,285 卵 2 7,202 10,846 18,048 数 2,911 11,728 14,639

• 1	魚種別漁獲	高			(令和2年)
	区分	数	量	金	額
		トン	%	千 円	%
	さけ	144	2.46	110,326	4.22
	ます	1	0.02	533	0.02
魚	たら	487	8.30	101,622	3.88
	すけそうたら	99	1.69	5,773	0.22
	ほっけ	61	1.04	3,395	0.13
	ひらめ	19	0.32	14,959	0.57
類	かれい	522	8.90	89,119	3.41
	その他魚類	67	1.14	69,766	2.67
	小 計	1,400	23.87	395,493	15.11
	う に	73	1.24	82,743	3.16
水	え び	343	5.85	530,043	20.26
産	いカン	2	0.03	2,201	0.08
=61	たこ	404	6.89	324,728	12.41
動	なまこ	258	4.40	149,789	5.72
物	かに	0	0.00	1,938	0.07
	小 計	1,080	18.42	1,091,442	41.71
	あわび	2	0.03	9,749	0.37
貝	ほたて貝	1,419	24.20	388,577	14.85
	ほたて稚貝	1,944	33.15	727,184	27.79
類	その他貝類	19	0.32	4,294	0.16

100.00

#### ●漁船隻数[登録漁船]

動力	船	( t )	隻 数
	~	0.9	97
1	~	2.9	4
3	~	4.9	39
5	~	9.9	10
10	~	19.9	16
20	~	49.9	0
50	~	99. 9	0
100	~		0
総	隻	数	166

(令和2年度)



#### ●年齢別漁業就業者数

5,864

区分	15 ~ 24 歳	25 ~ 34 歳	35 ~ 44 歳	10		65 ~ 74 歳	75 歳 以上	計
男女臣	3	34	28	29	22	19	24	159

2,616,739

100.00

「2018年 漁業センサス」



増毛町フォトコンテスト2021入選「漁港の朝」(増井道英さん)

国の直轄事業として行われた増毛港の屋根付き岸壁の工事は、令和3年7月に完成し、水産物の衛生状態や鮮度が保たれ、サケやナマコなどの輸出促進が期待されております。



令和3年に完成した増毛港屋根付き岸壁

●港勢

(令和2年)

				(市和2千)
港名	陸	揚 量	経営体(組合員数)	漁 家 戸 数
	数量(t)	金額(千円)	(人)	(戸)
地 方 港 湾 増 毛 港	5,386.8	1,918,506	50	44
4 種 漁 港 雄冬漁港	34.2	26,844	8	8
1 種 漁 港				
岩老漁港	78.7	41,476	7	5
別苅漁港	605.5	439,229	48	38
阿分漁港	14.2	25,767	6	6
計	6,119.4	2,451,822	119	101

●船種別入港船舶

(令和2年度)

区分	隻 数	総トン数
商 船	0	0
漁 船	8,222	88,452
その他	225	49,708
避難船	0	0
計	8,447	138,160

〔地方港湾 増毛港分〕



令和3年7月17日挙行 増毛港屋根付き岸壁供用式典

名 称	所 在 地	塗 色 と 構 造	灯 質	灯 高 (水面上)	実 効 光 度	光達距離(海里)	開設年月
増 毛 灯 台 弁	牟 天 町	白 地 に 赤 横 帯 1 本 塗塔形(コンクリート造)	単 閃 白 赤 互 光 毎16秒に白1・赤1閃光		白光 140,000 cd 赤光 24,000 cd	白光 18.5 赤色 16.0	明治23年12月
增毛港北防波堤灯台 増	曾毛港 北防 外端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	14 m	78 cd	5.0	昭和 4年 5月
雄冬港島防波堤北灯台 雄	推冬港島防北端	赤色塔形(コンクリート造)	群閃赤光/毎6秒に2閃光	15 m	78 cd	5.0	昭和51年10月
別 苅港 北防 波 堤 灯 台 別	川 苅 港 北 防 外 端	赤色塔形(コンクリート造)	単閃赤光/毎4秒に1閃光	14 m	25 cd	3.5	平成元年11月
						New York Company Advantage Company	

※1海里は、約1.850m

## 6. 福祉・医療・保健



令和3年11月23日 NHK民謡をたずねて

増毛町は、全国、全道と比べ高齢化が進んでおり 人口のおよそ 45%が 65 歳以上となっていますが、全国、 全道よりも高い各種健診受診率と、町民の生活実態に寄 り添った健康づくりによって、健康寿命の延伸を図り、 生涯現役のまちづくりを進めています。

<u>●生</u>	●生活会館・各センター (令和3年12月1日)					
施	設名	規模	所 在 地	設置年月日		
	箸 別 生 活 館	163 m²	箸別133番地の8	昭和47. 7.28		
生	中歌生活館	97 m²	見晴町4番地の3	昭和50.10.28		
	元阿分福祉会館	315 m²	阿分226番地の10	平成元. 8. 3		
活	中歌協和会館	228 m²	中歌204番地の5	昭和51. 9.20		
111	谷地町会館	129 m²	別苅605番地の31	昭和53.12.14		
会	大別苅会館	165 m²	別苅96番地	昭和58.10.8		
云	津田屋会館	167 m²	別苅78番地の26	昭和60.11.7		
A.L.	朱文別会館	155 m²	舎熊199番地の2	平成 2.12.10		
館	雄冬生活館	314 m²	雄冬43番地の1	平成 2.12.10		
	はまなす会館	211 m²	暑寒町2丁目88番地	平成 4. 3. 7		
等	暑寒沢会館	139 m²	暑寒沢418番地の1	平成 4. 9.10		
	阿 分 会 館	372 m²	阿分116番地	平成20. 4. 1		
農集	湯の沢会館	74 m²	箸別981番地	昭和49. 8. 6		
生施	笹 沼 会 館	74 m²	舎熊1029番地の68	昭和50. 9. 1		
活設	黒岩尻共栄会館	74 m²	別苅836番地の31	昭和51.10.22		
信砂生	上活改善センター	234 m²	信砂581番地の11	昭和52.10.1		
漁木	ナセンター	549 m²	港町46番地の2	昭和54.10.22		
老人	福祉センター	588 m²	南畠中町2丁目27番地の1	昭和56.11.27		
舎	態寿の家	100 m²	舎熊253番地の3	昭和53. 9.25		
岩尾~	へき地保健福祉館	166 m²	岩老171番地	昭和43. 8.30		

●福祉寮 (令和3年12月1日)

							(中和5十)	14月1日/
施設名			人)	TIE.	所 在	在 地	設置年	п
胞 权 名	定員	入居	管理人	IJТ	工	끄	<b></b>	Л
老人福祉寮やすらぎ荘	6人	5人	2人	南永寿町	13丁目	284番地	昭和53.	9. 25

#### ●町立養護・特別養護老人ホーム明和園入所者数

(令和3年12月1日)

年 齢 別	養	護 (	人)	特別	養 護	(人)	計
十 断 別	男	女	小計	男	女	小計	ΠĘ
70 ~ 79 歳	2	2	4	0	3	3	7
80 ~ 89 歳	1	7	8	3	7	10	18
90 ~ 99 歳	1	10	11	1	12	13	24
100 歳以上	0	1	1	0	5	5	6
計	4	20	24	4	27	31	55

# ■市街診療所及び雄冬へき地診療所診療状況

	市	街	診療	所	雄冬へ	き地診療所		
年 度	入	院	外	来	外	来		
	患者数	1 日 平 均 患 者 数	患者数	1 日 平 均 患 者 数	患者数	1 日 平 均 患 者 数		
平成 30 年度	2,457	6.7 (365)	14,329	58.9 (243)	274	11.4 (24)		
令和 元 年度	1,901	5.2 (366)	10,952	45.1 (243)	220	9.2 (24)		
令和 2 年度	1,366	3.7 (365)	8,092	22.2 (365)	145	6.0 (24)		

※(括弧)はそれぞれの診療日数を記載しています。※市街診療所外来患者数には、明和園の診察者数を含んでいます。

#### ●社会福祉団体

(令和3年12月1日)

団 体	名	団体数	会員数
民 生 委 員 協	議会	1	23
老人クラ	ラ ブ	1	142
母 子	会	1	12
遺族	会	1	24
增毛町社会福祉	協議会	1	327
身体障害者福祉	止協会	1	32
ボランティアセ	ンター	1	33
生きがい活動	事業 団	1	39

#### ●被保護世帯・人員調

(令和3年4月1日

	(市和5年4月1日)
区 分	世帯数·人数
被保護世帯数	68 世帯
被保護人員	94 人

#### ●生活保護費支出額

(令和2年度)

					(令和2年度)
	区		分		金額(千円)
生	活	扶	助	費	33,983
住	宅	扶	助	費	8,506
教	育	扶	助	費	119
介	護	扶	助	費	17
医	療	扶	助	費	831
生	業	扶	助	費	0
葬	祭	扶	助	費	278
		計			43,734

#### ●国民健康保険加入状況

(令和3年3月31日)

総世帯数	被保険者世帯数	加入率
2,125	588	27.67 %
総人口	被保険者数	加入率
3,983	879	22.07 %

#### ●介護保険加入状況

(令和3年11月30日)

総人口	被保険者数	加入率
3,913	1,814	46.36 %
介護サービ	ス受給者数	324 人
居宅介	誰 サードス	997 J

#### ●後期高齢者医療加入状況

地域密着型サービス

施設介護サービス

(今和9年11月20日)

34 人

63

総人口	被保険者数	加入率
3,983	1,030	25.86 %

#### ●国民年金適用状況

(会和3年11月30日)

第 1 号 被保険者	第 3 号 被保険者	任意加入被保険者	合 計				
310 人	176 人	4 人	490 人				



令和3年12月14日 スポーツ・健康まちづくり自治体表彰



#### ■国民健康保険給付状況

(令和2年度)

	113 2100	(1)1112 丁(文)
区 分	給付件数	金額(千円)
療養給付	11,649	278,344
養療養費	139	1,205
諸 審 査 支 払 費 手 数 料	12,042	581
高額療養費	774	47,243
出産育児費	3	1,260
葬 祭 費	8	240
計	12,573	328,873

※審査支払手数料は給付件数計から除く

#### ●介護保険給付状況

(令和2年度)

区 分	給付件数	金額(千円)
居宅介護サービス費	5,277	285,024
地域密着型介護サービス費	438	62,521
施設介護サービス費	823	191,356
居宅介護サービス計画費	2,232	27,801
福祉用具購入費	28	860
住 宅 改 修 費	24	1,414
高額介護サービス費等	2,009	19,892
高額医療合算介護サービス費	115	3,654
特定入所者介護サービス費	769	27,083
審查支払手数料	8,658	510
計	11,715	620,115

※給付件数計には審査支払手数料を含まない

#### ●後期高齢者医療療養給付状況

(令和2年度)

	区	分		給付件数	金額(千円)
	入		院	1,051	603,490
療養	入歯	院	外 科	12,152	208,566
給	調		剤	8,528	192,836
付費	食生	事 療 活 療		979	33,593
	訪	問看	護	52	3,416
療	養	費	等	104	1,965
高	額	療 養	費	2,272	45,702
高 額	介護	合 算 療	養費	104	1,781
		計		25,242	1,091,349

※北海道の後期高齢者医療「事業概要書」より

#### ■国民在全经付出识

	国氏牛金稻何农	<u>、</u> 江	(令和2年度)
	区 分	給付件数	金額(千円)
新	老齢基礎年金	1,716	1,209,443
	障害基礎年金	88	73,490
法	遺族基礎年金	2	1,788
	5 年 年 金	2	808
旧	老齢年金	33	17,785
法	通算老齡年金	23	6,961
	障害年金	2	1,758
	計	1,866	1,312,033

#### ●生活習慣病予防の受診状況

<u> </u>		1 1 14.	, •, •,		\ W		$\overline{}$																	
	胃	が	ん	検	診	大 腸	がん	検診	乳	が	ん	検	診	子	宮 :	がん	検	診	肺がん	· 結核	核検診	特定	健康	診査
分分	対象者数	者年	診 者 年	診年	(%)	対象者数	受診者数	(%)	象 者	診 者 年	者年	診年	(%)	象 者	者年	診 者 年	診年	(%)	対象者数	受診者数	(%)	対象者数	受診者数	(%)
平成30年度	472	160	153	117	41.5	566	225	39.8	308	128	117	90	50.3	342	126	103	79	43.9	566	221	39.0	739	485	65.6
令和元年度	435	145	130	99	40.5	520	202	38.8	282	108	92	76	44.0	318	96	85	66	36.2	520	195	37.5	709	439	61.9
令和2年度	680	128	153	122	23.4	757	251	33.2	427	92	111	81	28.6	464	86	98	68	25.0	757	243	32.1	688	395	57.4

※がん検診の受診率対象者は40~69歳(胃がんは50~69歳、子宮がんは20~69歳)で、胃がん乳がん子宮がん検診は2年毎の受診率で算出。

※対象者は国保被保険者。

## 7. 生活環境





●上水道•簡易水道				(令	·和3年3月31日)
	増毛上水道	阿分簡易水道	雄冬簡易水道	岩老簡易水道	別苅簡易水道
事業開始年月日	S26.12.1	S49.6.17	S39.11.1	S39.11.1	S57.9.1
計画給水人口 (人)	5,500	600	460	230	930
現在給水人口(人)	3,516	165	37	17	337
給水戸数(戸)	1,902	91	20	9	194
施 導水管延長 (m)	6,007		575	641	1,748
設 配水管延長 (m)	52,677	3,961	1,473	557	6,885
内 送水管延長 (m)	2,945	520	_	_	_
容 配水池容量 (m³)	1,310	64	70	17	183
契約件数(件)	2,021	98	48	24	242
消火栓(本)	80	9	4	3	10
年間総配水量 (m³)	689,955	13,886	2,981	3,696	40,757
年間有収水量 (m³)	531,823	12,093	2,822	3,540	27,835
有 収 率 (%)	77.08	87.09	94.66	95.78	68.30
給 水 能 力 (m³/日)	3,000	108	69	35	270
排 一 日 平 均 (㎡)	1,890	38	8	10	112
量 ─ 日 最 大 (m³)	2,390	69	15	29	155
基 本 水 量	8	8	8	8	8
基 本 料 金	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
金超過料金	230	230	230	230	230
メーター使用料	400	400	400	400	400

※料金は、家事用(消費税含)で表示(単位:千円)。メーター使用料は13mmとして記載。

#### ●公共下水道

	区分	全体計画	認可計画			
施	工 年 度	平成6~ 令和11年	令和2~6年			
計i	画区域面積	133.4 ha	109.6 ha			
計i	画処理人口	2,360 人	2,470 人			
排	除方式	分 流 式	分 流 式			
管導	<b></b> 長延長(汚水)	24,307 m	23,847 m			
ポ	ンプ場	1ヶ所	1ヶ所			
処	処理方式	オキシデーシ	ョンディッチ法			
理	計画能力	晴天時最大 1,740 ㎡/日				
場	敷地面積	206 アール				

#### ●公共下水道接続状況

(令和3年3月31日)

完 成 予 定	令和11年
下水道接続戸数	1,009 戸
下水道接続率	75.1 %
下水道処理人口	1,894 人
下水道普及率	61.5 %

#### ●ごみ・し尿処理状況(排出・収集量)

	~- T D(00 ( 1)) III	N/L=/
年 度	ごみ	し 尿
平成 30 年度	990	t 2,133 kl
令和 元 年度	954	t 2,016 kl
令和 2 年度	1,002	t 2,028 kl
処理方法及び	埋 立 処 理 450	t 生し尿 998 kl
収集種別	その他 552	t 浄化槽 汚 泥 1,030 kl



#### ●浄化槽設置状況

(令和2年度)

		( )	1102十尺/
区 分	単 独 浄化槽	合 併 浄化槽	計
5~10人槽	174	126	300
11~50人槽	34	9	43
51人槽以上	2	16	18
計	210	151	361

#### ●火葬場使用状況

区分	ましけ 葬 苑	町外
平成30年度	29	52
令和元年度	51	59
令和2年度	37	41

#### ●畜犬登録状況

<u> </u>						
区 分	登録数					
平成30年度	206					
令和元年度	204					
令和2年度	186					

#### ●公営住宅

(令和3年12月1日) 入居 分 戸数 戸数 228 公 営 住 宅 203 改良住宅 44 43 特定公共賃貸住宅 (単身) 18 17 単 独 住 宅 15 15

## ●電話加入数 NTT調

(令和3年3月31日)

0/101 1/
契約数
1,030
57
9

## 7. 牛 活 環 境

●道路延長

(令和3年12月1日)

<u> </u>	<u> </u>			
区分	路線数	実延長(km)	舗装済延長	舗装率(%)
町 道	213	162.90	80.46	49.39
一般国道	1	33.51	33.51	100.00
主要道道	1	19.87	19.87	100.00
一般道道	2	11.43	9.95	87.05
計	217	227.71	143.79	63.15
· 如同学 (0)	71 口 (位 )		•	

※一般国道 (231号線)

※主要道道(増毛稲田線94号)

※一般道道(増毛港線301号、暑寒別公園線546号)

#### ●ロードヒーティング状況

				('7	6和3年12月1日 <u>)</u>
路		線	名	, 1	車道部(m)
	2	丁 目	通	線	14.25
町	弁	天	通	線	92.10
	第 -	一火 防	線通	線	115.60
道	役	場	通	線	145.40
	雄。	冬1号	道路	線	39.10
		計			406.45

※弁天通線は、一部2丁目通り交差部20.0mを含む。

#### ●パス利用状況

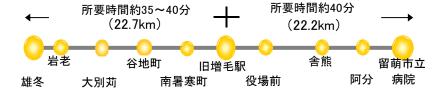
沿岸バス本社調

		石圧ハヘ平江洞
. 4	路	線等
年 度	留萌別苅線 (※1)	特急はぼろ号 (※2)
平成 30 年度	109,749	4,803
令和 元 年度	110,477	4,390
令和 2 年度	93,592	1,202

※1 留萌-増毛-大別苅-雄冬間の乗降者数

※2 札幌-増毛間の乗降者数

## ●バス経路 (雄冬~旧増毛駅~ 留萌市立病院)



●預貯金及	び貸出金	残高			(令和3年3月31	日 単位:千円)
預	貯 金	高	貸出			高
流動性·当座性 預 貯 金	定期性 預貯金	計	割引手形	手形貸付	その他	計
11,055,709	11,794,141	22,849,850	163,919	1,725,045	4,796,090	6,685,054

●警察官駐在所

(令和3年12月1日)

<u> </u>	
駐在所名	住 所
留萌警察署 増毛駐在所	増毛町暑寒町1丁目6番地
留萌警察署 別苅駐在所	増毛町別苅41番地の17
留萌警察署 舎熊駐在所	増毛町舎熊342番地

#### ●交诵事故件数

· ·				
区分	人 身 故	負傷者	死 者	物 損事 故
令和元年	3	4	1	86
令和2年	0	0	0	66
令和3年	2	3	0	88

#### ●犯罪発生件数

区分	窃盗犯	粗暴犯	知能犯	凶悪犯	その他 刑法犯
令和元年	令和元年 5		1	0	4
令和2年	4	1	0	0	2
令和3年	3	1	0	0	1

#### ●酒別消費量

留萌小売酒販組合調(令和2年度)

	笛明小冗	雪敗組合調 (	令和2年度)
種類	消費量 (リッ)	割合(%)	1 人 当 たり (゚゚゚゚゚)
清 酒	6,251	6.83	1.74
合 成 清 酒	100	0.11	0.03
焼酎	9,063	9.90	2.52
ビール	38,287	41.81	10.63
発 泡 酒	5,461	5.96	1.52
果実酒	2,335	2.55	0.65
甘味果実酒	89	0.10	0.02
ウイスキー	771	0.84	0.21
ブランデー	101	0.11	0.03
スピリッツ	3,928	4.29	1.09
リキュール	22,295	24.34	6.19
その他	2,901	3.16	0.81
計	91,582	100.00	25.43

※ 1人当たりの消費量については、当該年度の住民基本 台帳(3月31日現在)における20歳以上人口により算出

#### ●たばこ消費量

年 度	消費量(千本)	1人当りたり(本)
平成 30 年度	6,761	1,804
令和 元 年度	6,343	1,748
令和 2 年度	6,014	1,698

※1人当たりの消費量については、 当該年の有権者数 (9月1日現在) により算出しています。

	<b>●</b> 車	[両	<del>等</del> 租	<u> </u>	台	数																(-	令和3	年3月	31日)
I		乗	用	車	乗	合バ	、ス		貨	物		特利	種(死	朱)月	途	軽	自 動	車	11	輪	車	厉	₹ f	十	
	区	普	小		普	小		普	小	被け		特	大型	小型		乗	貨		小型	軽		1	1		総
l	分	通	型	計	通	型	計	通	型	ん	計	殊	特	特	計	用	物	計	H 11	_	計			計	計
l		車	車		車	車		車	車	引車		車	殊車	殊車		車	車		輪	輪		種	種		
I	台数	726	750	1,476	4	9	13	97	166	4	267	76	58	217	351	545	299	844	51	81	132	79	12	91	3,174



キッズ体験隊 スラックライン



増毛小学校 まるごと増毛Day

#### 〈こども関〉

平成31年4月より、増毛幼稚園とあっぷ る保育所が統合し「ましけ町立認定子ども 園」となりました。

#### 〈小学校〉

平成27年3月に別苅小学校と阿分小学 校、28年3月に舎熊小学校が閉校となり、 現在は増毛小学校のみとなっています。

また、増毛小学校は、平成24年4月に、 北海道遺産に指定されている昭和11年築 の木造校舎から、旧増毛高等学校(平成23 年3月閉校) 校舎へ移転しています。

#### 〈中学校〉

平成20年4月に増毛第二中学校が閉校 となり、現在は増毛中学校のみとなってい ます。

#### ●中学卒業後の状況

	年 月	度	男	女	計
平	成 30 年度	卒業	18	16	34
令	和元年度	卒業	16	20	36
卓	和 2 年度	卒業	9	11	20
	進学	道内	9	11	20
2	進 于	道外	-	ı	_
年	専門	道内	-	1	-
度	学校等	道外	-	ı	_
内	就職	町内	_	-	_
訳	加工相联	町外	ı	ı	_
	無	業	_	-	_

こども周

<b>●</b> こど	も園							(令和	3年5月1日)
園	名	学級	教職	屋	』 児	数	園舎	所 在 地	設置年
<u> </u> 28	和	数	員数	男	女	計	構造	月 任 地	
認定こと		5	27	27	35	62	鉄 筋 コンクリート	南畠中町2丁目35番地2	平成 31

●小子校							(令和	3年5月1日)
校名	タ 学級	学級 教職 児童		数	校舎	所 在 地	設置年	
仪石	数	員数	男	女	計	構造	月 狂 堰	双旦牛
増毛小学校	10	29	86	71	157	鉄 筋 コンクリート	南暑寒町2丁目38番地 (平成23年 校舎移転)	明治 11

校名     学級 数職 員数     生徒数 核告 期 女 計 構造     校舎 構造     所 在 地 設置年       増毛中学校     5     22     46     31     77     鉄筋 コンクリート (平成12年新築)     昭和 33	●甲字校							(令和	3年5月1日)
数 員 数 男 女 計 構造	-	学級	教職	셜	上 徒	数	校舎	正 左 W	<b>沙</b> 男在
増毛甲字校   5   72   46   31   77   1   1   1   1   1   1   1   1	仅 石	数	員数	男	女	計	構造	月 住 地	双旦牛
	増毛中学校	5	22	46	31	77			昭和 33

#### ●高等学校通学費補助状況

年 度	補 助 人 数	補助総額 (千円)
平成 30 年度	72	6,464
令和 元 年度	71	6,170
令和 2 年度	71	5,753

[平成28年 教育委員会達第1号]

#### ●奨学金貸与状況

年 度	大学生	短大生・専門学校生	高校生	貸 終 額 (千円)
令和 元 年度	5	5	1	2,988
令和2年度	5	5	2	3,096
令和3年度	5	4	2	2,664

[昭和34年条例第20号]

生涯学習の取組みとして、町民全般では「町民スクール」の開催、女性領域では 「さくらコミュニティ学級」の運営、高齢者領域では「暑寒大学」の運営など、様々

な事業を行っています。

また、重要文化財の旧商家丸一本間家 や総合交流促進施設「元陣屋」、体育 館や屋内グランドなどの文化・スポー ツ関係施設の充実を図り、町民一人ひ とりが心豊かな生活を送れるよう努め ています。



# 9. 各種施設(利用状況)

#### ●社会教育・体育施設等

施 設 名	構造・規模	所 在 地	設 置 年 月 日
増 毛 町 立 体 育 館	鉄骨造一部2階建 1,586.59 ㎡	南畠中町3丁目 56番地の1	昭和 48.12.22
増毛町文化センター	鉄筋コンクリート2階建 2,215.45 ㎡	南畠中町2丁目 25番地	昭和 52. 2. 1
増毛町温水プール	鉄骨造一部2階建 1,002.2 ㎡	南畠中町3丁目 56番地の1	昭和 55. 5. 1
暑寒別岳スキー場	1-7-1	暑寒沢 527番地の1外	昭和 55.11. 1
テニスコート	全天候型4面 3,576.96 ㎡	別苅459番地外	昭和 60. 5. 1
創作の館	木造平屋建 129 ㎡	南永寿町2丁目 77番地の1	昭和 63. 6.27
屋内グランド	鉄骨造平屋建 2,503.33 ㎡	南暑寒町5丁目	平成 2.4.1 平成 4.10.12増築
增毛町総合交流促進施設「元陣屋」	鉄筋コンクリート2階建 1,794 ㎡	永寿町4丁目 49番地	平成 8.4.1
旧商家丸一本間家	木骨石造2階建(一部 3階建) 1,237.83 ㎡	弁天町1丁目 27番地	平成 12. 4. 1
パークゴルフ場	27 ホール 12,644.25 ㎡	暑寒町1丁目 暑寒別川右岸	平成 14. 4. 1 平成 29. 6.16増設

#### ●町立体育館

●町立体育館					
	年 ,	度	開館日数	利用者数	
平原	戈 30	年 度	303	6,605	
令 利	10元	年 度	305	6,039	
令 君	和 2	年 度	299	5,250	
	1	小	学 生	81	
2	般	中	学 生	521	
		高	交 生	100	
年	利	_	般	274	
	用	小	計	976	
度	団	剣	道	1,548	
内	A	ミニバ	ベレー	877	
, ,	体	サッ	カー	1,729	
訳	利	テニ	ニス	97	
	用	その	り他	23	
	711	小	計	4,274	

#### ●元陣屋

年 度	開館 日数	利用者数
平成 30 年度	307	8,904
令 和 元 年度	307	8,325
令和2年度	307	5,139
展示室等	入館者	983
年 図 書	室	3,906
度 婦 人 文	化 室	63
訳 郷土文化	伝承室	187

## ●旧商家丸一本間家

年 度	開館日数	利用者数
平成 30 年度	185	9,855
令和 元 年度	186	7,670
令和2年度	151	4,023
令和3年度	119	2,745
元 年 度 高 校 内 訳	学生生	287 34 2,424

#### ●屋内グランド

	年	度	開館 日数	利用者数
平	成 30	年 度	300	10,576
令:	和元	年 度	306	9,701
令	和 2	年 度	261	6,461
元	小	学	生	3,213
年	中	学	生	931
度内	高	校	生	364
訳			般	1,953

#### ●温水プール

年 度	開館日数	利用者数
平成 30 年度	126	3,281
令和 元 年度	125	3,734
令和2年度	99	2,352
令和3年度	106	2,486
3 年度 高校生・大 内 訳		1,450 7 1,029

#### ●文化センター及び「ら・さんて」

年 度	文化センター	ら・さんて
平成 30 年度	24,986	6,387
令和 元 年度	23,433	5,089
令和2年度	17,734	3,622

※「ら・さんて」は、宿泊施設内にある健康増進施設

#### ●創作の館

年 度	開館 日数	利用者数
平成 30 年度	112	566
令 和 元 年 度	84	489
令和2年度	47	210

#### ●その他の施設等

年 度	岩尾温泉	スキー場	ゴルフ場	キャンプ場	登山
平成 30 年度	17,369	113,303	6,212	4,824	3,358
令和 元 年度	16,812	113,146	6,406	5,245	3,119
令和2年度	14,417	98,783	6,832	5,222	2,414

※スキー場は、リフト乗車の延べ人数



# 10. 財政

#### ●一般会計予算決算 〈歳 入〉

(単位: 千円)

<u> </u>							(	<u>(単位:十円)</u>
科 目	平 成 2	9 年 度	平 成 30	0 年 度	令 和 テ	年 度	令 和 2	1 20
Ţ	当初予算	決 算	6月補正後晉算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算
町税	368,998	378,172	359,243	374,099	365,668	372,168	369,292	355,313
地 方 譲 与 税	38,600	41,013	39,000	41,294	40,000	45,686	50,000	50,525
利 子 割 交 付 金	600	726	600	601	600	305	800	364
配当割交付金	900	1,034	900	811	900	1,000	900	884
株式等譲渡所得割交付金	600	1,050	800	703	800	654	500	1,079
法 人 事 業 税 交 付 金	-	-	-	-	-	-	1,000	1,529
地方消費税交付金	77,000	85,650	84,000	87,044	84,000	82,352	106,000	101,160
ゴルフ場利用税交付金	1,300	1,732	1,100	1,520	1,100	1,547	1,000	1,913
自動車取得税交付金	5,700	10,531	6,000	9,470	5,000	4,707	-	-
環境性能割交付金	-	-	-	-	-	1,359	3,000	2,942
地方特例交付金	300	488	400	504	500	9,132	1,200	1,929
地 方 交 付 税	2,478,625	2,529,350	2,383,900	2,434,898	2,357,708	2,400,662	2,449,711	2,491,878
交通安全対策特別交付金	500	-	500	-	500	-	500	-
分担金及び負担金	102,123	91,518	93,558	77,690	119,749	90,956	119,462	94,187
使用料及び手数料	131,785	131,889	117,277	115,146	116,599	117,231	134,711	130,168
国 庫 支 出 金	186,429	272,658	244,423	245,487	148,178	203,966	299,342	951,136
道 支 出 金	169,391	180,744	187,031	190,519	233,232	243,142	236,503	233,173
財 産 収 入	13,398	19,641	12,584	18,968	15,126	18,534	13,990	17,272
寄附金	300,060	552,432	300,060	367,020	300,060	320,719	300,060	511,812
繰 入 金	168,841	157,866	445,400	347,862	155,000	252,081	266,065	432,617
繰越金	10	87,197	10	55,863	10	51,570	10	26,107
諸   収   入	106,640	114,596	92,914	89,503	95,070	126,416	76,254	95,199
町賃	372,200	391,969	436,300	424,871	353,200	455,463	645,700	844,450
計	4,524,000	5,050,256	4,806,000	4,883,873	4,393,000	4,799,650	5,076,000	6,345,637

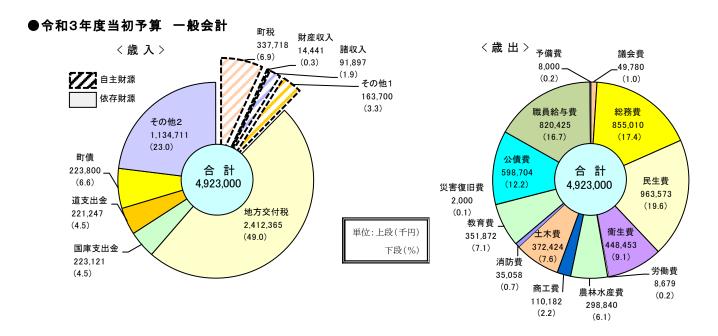
〈**歳 出**〉 (単位:千円)

	科目		平 成 2	9 年 度	平 成 3	0 年 度	令和テ	上 年 度	令 和 2	2 年 度		
	17		П		当初予算	決 算	6月補正後囹算	決 算	当初予算	決 算	当初予算	決 算
議		会		費	51,138	48,371	48,458	47,957	48,438	47,442	48,449	48,663
総		務		費	597,681	1,020,220	561,726	644,680	559,254	654,307	538,554	1,187,954
民		生		費	794,204	770,922	802,988	782,594	739,474	771,302	878,555	885,354
衛		生		費	323,792	334,627	335,522	342,016	338,494	388,179	411,217	505,775
労		働		費	8,453	7,519	7,655	8,259	8,209	6,871	8,582	8,876
農	林	水 産	業	費	202,645	196,518	237,096	223,892	353,200	298,304	349,795	316,557
商		工		費	154,385	160,326	140,484	140,132	116,742	136,138	135,966	182,109
土		木		費	489,923	522,113	680,159	699,723	396,658	475,351	829,858	831,738
消		防		費	65,235	55,135	116,234	29,478	27,333	118,109	30,315	460,103
教		育		費	265,905	259,081	303,854	297,164	289,783	320,430	327,080	347,139
災	害	復	旧	費	2,000	3,644	2,000	16,248	2,000	23,263	2,000	-
公		債		費	735,286	732,797	723,156	720,975	671,127	669,448	668,464	666,122
職	員	給	与	費	825,353	833,324	838,668	831,817	834,288	835,959	839,165	816,144
予		備		費	8,000	-	8,000	_	8,000	-	8,000	-
		計			4,524,000	4,944,597	4,806,000	4,784,935	4,393,000	4,745,103	5,076,000	6,256,534

●**特別会計等決算** (単位:千円)

科目		平 成 2	9 年 度	平 成 3	0 年 度	つ ヤロフ	上 年 度	令和 2	2 年 度				
	4.1			н		歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
国	民	健	康	保	険	743,779	704,469	552,842	513,641	557,054	514,415	536,633	490,388
観	光	施	設	事	業	52,015	52,015	54,242	54,242	57,226	57,226	51,773	51,773
診	療	戸	F	事	業	205,583	205,583	224,366	224,366	227,305	227,305	294,550	264,550
公	共	下力	、 道	事	業	263,240	263,240	217,106	217,081	262,844	262,844	_	_
介		護	保		険	917,185	904,709	921,607	897,909	943,961	920,095	966,866	936,588
後	期	高 歯	令 者	医	療	77,506	75,024	90,898	90,800	87,028	86,803	89,643	89,527
港	湾	整	備	事	業	_	_	15,840	15,840	17,553	17,553	20,129	20,129
		計	†			2,259,308	2,205,040	2,061,061	1,998,039	2,135,418	2,068,688	1,959,594	1,852,955
水		道	事		業	150,799	135,345	150,875	140,043	147,420	135,587	146,456	135,651
簡	易	水	道	事	業	21,031	18,766	19,953	19,060	19,717	17,976	19,198	17,238
砕		石	事		業	231,895	238,658	254,678	310,331	272,808	271,100		
		計	+			403,725	392,769	425,506	469,434	439,945	424,663	165,654	152,889
		•	•	•					>	一、	バホナ事業にん	ルンプルは光的は	7 士 の 7、(4社:7.)

※水道・簡易水道及び砕石事業については収益的収支のみ(税込)



●指数等の状況			(単位:千円、%)
区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和2年度
基準財政需要額	2,638,503	2,623,321	2,732,052
基準財政収入額	407,758	407,790	431,646
標準財政規模	2,845,683	2,799,047	2,904,516
基金積立金現在高	3,136,297	3,300,181	2,945,194
地方債現在高	5,213,170	4,973,487	4,247,057
経常収支比率(全体)	90.3	91.7	86.0
起債制限比率(3年)	7.0	7.1	7.0
公債費負担比率	19.4	17.9	17.0
財政力指数(3年)	0.148	0.153	0.156
ラスパイレス指数	95.5	95.1	95.2

※決算統計より。地方債現在高は一般会計及び特別会計の合計額

●町税の内訳

町たばこ税

計

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和2年度
町民税個人	171,861	171,848	152,748
町民税法人	21,851	19,467	17,347
固定資産税	136,278	136,994	141,317
軽自動車税	7,880	8,053	8,630

36,229

374,099

●健全化判断比率

区 分	実 質 赤字比率	連結実質赤字比率	実 質 公債費比率	将 来 負担比率
増 毛 町	-	-	10.7	_
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	
•			aliitat a	

該当なしは、「一」で表示

(令和2年度決算)

●ふるさと納税寄附金

(単位	: 件	、干	円)

35,806

372,168

(単位:千円)

35,271

355,313

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和2年度
件 数	25,108	21,009	36,488
金額	366,420	320,416	507,374

## 11. 町民の暮らし

●人 口 ··· 3,964 人	●人口密度 R3.12.31	●世帯人口 R3.12.31	●出 産 令和3年	●死 亡 令和3年
●世帯数 ··· 2,155 戸	<b>10.7 人/k㎡</b>	<b>1.8 人</b>	<b>7人</b>	<b>82 人</b>
R3.12.31	(総面積 369.71 k㎡)	1世帯当たり	1ヶ月に 0.6 人	1ヶ月に 6.8 人
●結 婚 <sup>令和3年</sup>	●離 婚 <sup>令和3年</sup>	●転 入 令和3年	●転 出 令和3年	●町 税 令和3年度
<b>7組</b>	<b>6組</b>	<b>68人</b>	<b>126 人</b>	100,343 円
1ヶ月に 0.6 組	1ヶ月に 0.5組	1ヶ月に 5.7人	1ヶ月に10.5 人	町民有権者 1人当たり
●町議会議員 R3.12.31	●町 職 員 R3.12.31	●消防職員 R3.12.31	●教職員 R3.5.1	●児童生徒 R3.5.1
<b>11 人</b>	140 人 (消防職員を除く)	116 人 (団員含む)	<b>51人</b> (小・中学校)	<b>234 人</b> (小・中学校)
人口 360 人に 1人	人口 33 人に 1人	人口 34 人に 1人	児童生徒5人に1人	1世帯に 0.1 人
●救急出動 <sup>令和3年</sup> <b>199 件</b> 1ヶ月に 15 件	●交通事故 令和3年 <b>90 件</b> 1ヶ月に 7.5 件	●乗 用 車 R3.3.31 <b>2,021 台</b> 1世帯に 0.9 台	●給 水 量 令和2年度 <b>389                                    </b>	●ごみ収集量 令和2年度 <b>1002 t</b> 1日に2.7 t

# 増毛町のあゆみ

1706	宝永 3	松前藩藩士・下国氏の商場知行地となる。
1751	宝暦 元	松前の商人、村山伝兵衛(能登国出身)が松前藩より増毛場所を請負。この地に出張番屋を設け交易始まる。
		これが増毛の地に和人が定着した始まりである(開基の起源)。運上屋氏神弁天社建立。
1794	寛政 6	マシケ運行屋(後の駅逓)が設けられる。
1806	文化 3	幕史・遠山、村垣北方調査で増毛巡検。近藤重蔵一行増毛に来行。増毛場所に馬匹初めて配送される。
1856	安政 3	秋田藩元陣屋設けられる。
1857	4	浜益~増毛間の山道竣工。
1868	明治 元	箱館府に属する。
1869	2	増毛郡、留萌郡共に山口藩の支配となる。
1871	4	山口藩の支配が終わり、開拓使の管轄となる。
1872	5	宗谷支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。増毛派出病院開設。
1873	6	留萌支庁の管轄となり、増毛出張所が置かれる。
1874	7	增毛郡戸長役場設置。
1875	8	留萌支庁を廃止し、札幌本庁の直轄となる。増毛郵便局置かれる(M22 郵便電信局に改称)。私設火消組創設(~M27)。
1876	9	漁場持制を廃止、一般漁民への漁場・昆布場割渡し始まる。
1877	10	増毛・別苅に戸長役場できる。辨天・稲葉・野塚・永壽・七源・畠中・暑寒の7町で市街地を形成する。
1878	11	増毛小学校創立。札幌警察署増毛分署開設(M15 増毛警察署として独立)。
1879	12	大小区制廃止、郡区町村を編制。公立増毛病院置かれる。留萌郡役所設置(翌年開所)。
1880	13	永寿町2丁目で大火、100 余戸焼失(6 月 24 日)。
1881	14	留萌郡役所、増毛に移り増毛郡役所となる(留萌・天塩・中川・上川・苫前・増毛6郡を管轄)。
1882	15	開拓使が廃止、道内が函館・札幌・根室の3県に分けられ増毛郡は札幌県に属す。増毛治安裁判所開設。
		別苅小学校創立(H27.3 閉校)。朱文別沢にて水稲試作。丸一本間(現在の国稀酒造)創業。
1883	16	阿分小学校(H27.3 閉校)、舎熊小学校創立(H28.3 閉校)。暑寒沢でリンゴ植付け。 増毛に遊郭設置許可。
1885	18	札幌県増毛監獄支署できる。
1886	19	三県・北海道事業管理局を廃止し、北海道庁設置される。増毛水産組合創立。三井銀行増毛出張所開店。
1887	20	暑寒沢に開拓者入地。
1888	21	増毛郡役所焼失、弁天町3丁目に新築移転。増毛~小樽間定期船運行開始。
1889	22	治安裁判所を増毛区裁判所に改称(S22 旭川地方裁判所増毛支部と改称)。信砂に開拓者入地。
		増毛郵便電信局設置され、電信事務開始(M36 増毛郵便局に改称)。雄冬事件(海馬島付近の漁獲争奪)発生。
1890	23	鰊(ニシン)漁獲高6万石に達す。増毛灯台初点(12月)。浜益郡と増毛郡の境界を「ヲフイ」に決定する。
1891	24	雨竜~信砂間の山道竣工し、仁奈良駅逓設置(M36.11 廃止)。 競馬場開設。この頃から明治 36 年頃まで「鰊百万石時代」。
1892	25	1丁目暑寒橋流失、3丁目に架替。雄冬小学校(H14.3 閉校)、歩古丹小学校創立(S46.3 閉校)。
1893	26	増毛~留萌間客馬車開通。永寿町2丁目で火災発生、30 余戸焼失(12 月 8 日)。第二火防線に水道敷設。
1894	27	増毛〜留萌間道路工事着工。私設火消組合解散し、増毛消防組合に改組。
1895	28	武好駅逓設置。
1897	30	増毛税務署開庁。 道庁官制改正により増毛郡役所を廃止し増毛支庁設置。 岩老小学校創立(S62.3 閉校)。
1898	31	小樽銀行増毛支店開設。雄冬事件の入会漁場裁定。
1900	33	一級町村制施行、増毛町役場開設。第1回町議会議員選挙執行。増毛病院が町立となる。信砂小学校創立(H18.3 閉校)。
		増毛産業組合設立。信砂御料農地への移住・開拓始まる。
1902	35	增毛町農会設立。增毛土木派出所開所(~T3)。武好駅逓新築。
1903	36	別苅谷地町の大火、70 数戸類焼(5 月)。
1905	38	畠中町4丁目の遊郭大火、100 戸類焼(11 月 13 日)。
1906	39	増毛と札幌・小樽間に電話開通。

1907	明治 40	信砂御料小学校創立(S52.3 閉校)。 增毛支庁舎焼失(5 月 25 日)。 内務大臣·原敬来町。 増毛漁業組合設立。
		大暴風雪・波浪で町内被害甚大(12月6日)。
1914	大正 3	増毛支庁を留萌に移行、留萌支庁と改称。
1916	5	増毛市街に電燈つく。暑寒沢でりんごのデリシャス種試作。
1919	8	暴風のため鰊漁船遭難し45人溺死(4月12日)。
1920	9	第1回国勢調査。新信砂小学校創立(S49.3 閉校)。
1921	10	留萌~増毛間の鉄道開通(11月5日)。
1928	昭和 3	增毛港第1期漁港工事完成。
1929	4	別苅村古茶内 120 町歩の造田。
1933	8	デリシャス種を東京へ初出荷。 サ海道遺産の旧憶毛小学校(昭和11年等)
1936	11	増毛尋常小学校新校舎(旧増毛小学校校舎)落成。笹沼の農地解放。
1940	15	町立増毛実科高等女学校創立(S24.3 閉校)。北洋無尽(株)代理店(現在の北洋銀行)営業開始。
1941	16	増毛町森林組合設立(S27 法人登録)。太平洋戦争始まる。
1943	18	增毛町農業会設立。
1945	20	米軍機による雄冬村空襲(7月15日)。太平洋戦争・日中戦争終結。樺太からの引揚げ船・小笠原丸殉難(8月22日)。
1946	21	信砂川鉄橋で列車転覆事故(3月14日)。 増毛灯台全焼。中歌海水浴場開設。
1947	22	新学制施行により新制小学校・中学校の義務教育発足。増毛第一中学校(S33.3 廃校)・増毛第二中学校創立(H20.3 廃校)。
1948	23	旭川地方裁判所増毛支部廃止。 信砂御料茶々沢で雪崩遭難 18 名死亡(3 月 6 日)。 増毛病院道立移管。
		増毛実科高等女学校を町立増毛高等学校と改称(S29 道立移管)。増毛町農業協同組合設立。町広報初号発刊(12 月)。
1949	24	新増毛灯台完成。増毛漁業協同組合設立。映画「ジャコ万と鉄」公開。
1950	25	増毛第一中学校から別苅中学校(S33.3 閉校)・岩老中学校(S62.3 閉校)・雄冬中学校(H14.3 閉校)が分離独立。
		信砂御料中学校創立(S52.3 閉校)。增毛高等学校定時制課程設置(~S57)。
1951	26	公営木造住宅 10 戸建設。 増毛町農業委員会設立。 増毛町社会福祉協議会設立。
1952	27	雄冬漁港着工。雄冬灯台設置。增毛町教育委員会設置。鰊回遊減少。
1953	28	岩老漁港着工。增毛町商工会設立。
1954	29	増毛高校道立移管(H23.3 閉校)。 台風 15 号による大被害(9 月 26 日)。 留萌信用金庫増毛支店開店。 町内自治会結成。
1955	30	市街地上水道竣工。 増毛町土地改良区設立(~S57解散)。 国勢調査で人口 16,768人と最高を記録。
1956	31	私立ルンビニ園創立(S35 増毛ルンビニ幼稚園開園~S54.3 閉園)。 増毛水族館開館(S39 閉館)。
		メルボルン五輪レスリングで池田三男が金メダル、浅井正と桂本和夫が入賞。
1958	33	増毛中学校創立(増毛第一中学校と別苅中学校統合)。 留萌~札幌間国道 231 号線、別苅より着工。別苅漁港着工。
1961	36	道立増毛高等学校が全焼(翌年に校舎新築)。
1962	37	暑寒別岳一円が道立自然公園(第8番目)に指定。国道 231 号岩尾~雄冬間着工(S38 完成)。
1963	38	町立養護老人ホーム明和園新築落成。えび籠漁業が正式に制度化。
1964	39	山小屋「暑寒荘」完成。
1965	40	町営砕石事業開始(信砂)。別苅小学校新校舎落成(H29 取壞)。
1966	41	別苅保育所開所(H9.3 閉所)。
1967	42	開道百年記念に厳島神社が遺跡指定。道営箸別地区パイロット事業着手(S52 撤退)。舎熊小学校舎全面改築(H26 取壊)。
		信砂へき地保育所開所(H9.11 閉所)。
1968	43	町営砕石事業を暑寒沢村黒岩地区に移す。
1969	44	町総合庁舎新築、町立暑寒別ユースホステル新築落成(S58 暑寒沢に移転)。舎熊保育所開所(H9.3 閉所)。
1970	45	拓殖銀行增毛支店閉鎖。增毛町開基 220 年·町制施行 70 周年、総合庁舎落成記念式典挙行。增毛音頭作成。
1971	46	増毛電報電話局開局(ダイヤル式切替)。信砂川サケマスふ化場設置。 増毛町概史発刊。 暑寒別橋(1丁目通)完成。
1972	47	救急業務開始。町章制定。第1回増毛町秋味まつり開催(~H27)。

1973	昭和 48	道立水産ふ化場増毛支場落成。信砂御料塵芥処理場完成。町立体育館開館。林内科医院開業(~H14)。
1974	49	増毛劇場雪害により破損。 増毛町史発刊。 暑寒海水浴場開設(~H22)。 消防創立 100 周年記念式典。
1975	50	上水道施設新設(浄水場・取水施設)落成。 増毛市街保育所開所(H8.3 閉所)。 第1回増毛町えびまつり開催(~H23)。
1976	51	道道増毛稲田線路線認定。増毛町の「色」「花」「木」「鳥」決定。
1977	52	「増毛町町民の誓い」制定(2月1日)。生活改善センター(信砂・雄冬)落成。 コミュニティーセンター・勤労青少年ホーム落成。
		大相撲新十両、琴若関の市街パレード実施。第1回増毛町冬まつり開催。
1978	53	增毛小学校開校 100 周年。雄冬·岩老地区電話自動化(道內最後)。增毛駅車扱貨物取扱廃止。
		ましけ葬苑落成。増毛町民グランド設置。
1979	54	漁村センター落成。 増毛幼稚園開園(H31.3 閉園)。 スクールバスかもめ号初運行。 温水プール設置。
1980	55	増毛町開基 230 年・町制施行 80 周年記念式典挙行。太陽熱・風力発電の自然エネルギー実用化。
		暑寒別岳スキー場開設。特別養護老人ホーム落成。
1981	56	町立岩尾公衆浴場開業。小水力発電実用化。町立市街診療所開設。町立老人福祉センター落成。映画「駅 station」公開
		国道 231 号留萌-札幌間開通(11 月 10 日)。 雄冬岬トンネル崩落(12 月 19 日)。
1982	57	阿分小学校新校舎落成。ミツバチによる受粉高配始まる。
1983	58	増毛町エネルギー科学館落成。リバーサイドパーク整備着工。清流橋完成。映画「魚影の群れ」公開。
1984	59	国鉄増毛駅無人化(2月)。増毛町シーサイドホテル営業開始(~S62)。第1回増毛エネルギーフェスティバル開催(~S61)。
1985	60	バイオマス施設完成。 道道稲田線開通(H2~通年供用)。
1986	61	アワビ中間育成センター運営開始。観光施設「陣屋展望台」開設。留萌南部森林組合設立。
1987	62	国鉄民営化。ホテル増毛営業開始。雄冬小中学校新校舎落成(岩老小中学校を統合)。増毛電報電話局廃止。
		第1回日本海オロロンライン・トライアスロン大会開催(~H18)。 さくらんぼ雨よけハウス初導入。
1988	63	リバーサイドパークフェスティバル開催。集中豪雨により信砂川氾濫し激甚災害指定(8月 25日)。創作の館設置。
1989	平成 元	増毛ゴルフ倶楽部増毛リンクスオープン。ましけグルメ'89 開催。 きらら 397 の作付け始まる。町民スクール開始。
1990	2	明和園改築落成。町文化財に増毛厳島神社本殿(有形)、雄冬神楽(無形)を指定。屋内グランド落成。
		増毛町開基 240 年・町制施行 90 周年記念式典挙行。暑寒別・天売焼尻国定公園指定(第 55 番目)。
1991	3	増毛第二中学校新校舎落成。JR留萌本線増毛~深川間ワンマン運転。市街地流雪溝完成。
1992	4	増毛~雄冬間定期航路閉航(4月30日)。リバーサイドミュージックフェスタ開催。屋内グランド増築。
		国道231号大別苅~歩古丹間新ルート開通(通年供用開始10月22日)。暑寒別岳スキー場ペアリフト増設。
1993	5	増毛へリポート開港。 「広報ましけ」1000 号発行(6 月号)。 町内の電話番号二桁化。
		大別苅除雪ステーション落成。地籍調査事業開始(~H18)。りんご・洋梨ジュース製造。
1994	6	ニューオートキャンプ場オープン。増毛港プレジャースポット(ノールマリーナましけ)供用開始。渓流の森完成。
		增毛消防創設 120 周年記念式典举行。市街地公共下水道事業着手。暑寒別川氾濫(5月 27日・8月 17日)。
1995	7	信砂小学校新校舎落成。 増毛町保健センター「健康一番館」落成。 国道 231 号増毛バイパス着工。
1996	8	増毛町総合交流促進施設「元陣屋」落成。増毛高等学校新校舎落成。住民票・印鑑証明自動交付機設置。
		第 15 回全国消防操法訓練大会出場。
1997	9	防災行政無線放送開始。 増毛(あっぷる)保育所開所(H31.3 閉所)。 国道 231 号増毛バイパス完成(12 月 18 日)
1998	10	管理型一般廃棄物処分場供用開始。在宅介護支援センター開設。増毛町字界改正事業実施。
1999	11	雄冬岬展望台・岩石公園オープン。増毛中学校新校舎落成。豪雨により暑寒別川氾濫(7 月 28~29 日)。
		暑寒別岳スキー場第1リフト開設(ペアリフト)。 増毛町ホームページ開設。
2000	12	北海道有形文化財に旧商家丸一本間家指定(4月開館)。増毛町下水道管理センター通水式(下水道供用開始)。
		町制施行100周年記念式典挙行。多目的広場メモリアルパーク100落成。水産加工業で中国人研修生受け入れ。
2001	13	ごみ分別収集開始。北海道遺産に「駅前の歴史的建物群と増毛小学校」指定。
2002	14	南るもい農業協同組合発足。雄冬小中学校閉校。学童保育事業開始。
_002	1-1	ごみ処理の有料化実施。岩尾温泉「あったま~る」開業。町内(53 局圏内)で ADSL サービス開始。

2003	平成 15	5	留萌南部三市町任意合併協議会設立(留萌市・増毛町・小平町)。国の重要文化財に旧商家丸一本間家指定。
2004	16	6	ニシン豊漁。 留萌南部三市町合併協議会設立(翌年解散)。 台風 18 号の被害甚大(9 月 8 日)。
2005	17	7	国道 231 号日方泊トンネル全面開通。暑寒別ユースホステル閉館。
2006	18	8	「新増毛町史」発刊。信砂小学校閉校。ましけミクニ塾開講。第 20 回日本海オロロン・トライアスロン国際大会閉幕。
2008	20	0	増毛第二中学校閉校。オーベルジュましけ開業。果樹類凍害。
2009	21	1	町立市街診療所大規模改修・医療機器の整備。舎熊小学校、旧第二中校舎へ移転。
2010	22	2	町制施行 110 周年。 増毛-留萌間鉄道開通 90 周年。
2011	23	3	道立増毛高等学校閉校。9月集中豪雨による河川災害等。
2012	24	4	増毛小学校、旧増毛高校舎へ移転。増毛えび地酒まつり開催。別苅小学校開校 130 周年。町内で光回線サービス開始。
2013	28	5	舎熊小学校、阿分小学校開校 130 周年。屋内グランドに人工芝導入。
2014	26	6	道営農地整備事業、信砂地区で開始(翌年から朱文別・湯の沢・別苅地区開始)。
2015	27	7	別苅小学校、阿分小学校閉校。 爆弾低気圧により秋サケ定置網損壊(10月2日)。
2016	28	8	舎熊小学校閉校。 増毛町秋の味まつり開催(秋味まつりから名称変更)。 JR 留萌本線留萌〜増毛間廃線(12月4日)。
2017	29	9	公共へリポート廃止。健康運動施設「ら・さんて」オープン。増毛駅増築整備開始。
2018	30	0	彫刻家・五十嵐威暢氏製作「テルミヌスへの誓い」設置。 増毛駅舎リ・ボーンセレモニー開催(4月 22日)。
			北海道有形文化財に増毛厳島神社本殿と奉納絵馬7点指定。女優・倍賞千恵子講演会開催。
			増毛春の味まつり開催(えび地酒まつりから名称変更)。北海道遺産に「増毛山道と濃昼山道」指定。
			北海道胆振東部地震で町内震度4、全域停電(9月6日)。郷土の味覚を楽しむ会開催。
2019	31	1	認定こども園あっぷる開園。 園児 81 人でスタート(4月 10 日)。
	令和 元	ĉ	北海道日本ハムファイターズ増毛町応援大使(西川遙輝、杉浦稔大選手)によるトークショー開催(11月19日)。
			66年ぶりに群来。雄冬漁港が乳白色に染まる(3月)。
2020	2	2	町制施行 120 周年。
			新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、増毛春の味まつりをはじめ多くの事業が中止、延期となる。
2021	3	3	国勢調査(令和2年速報)にて町内人口4,000人を割る
			増毛漁港に屋根付き岸壁完成



増毛町フォトコンテスト2021学生の部優秀賞「青春」(古川優真さん)

## フォトギャラリー (フォトコンテスト 2021入選作品)



入選「岩老の夜空」(佐藤心一さん)



学生の部入選「旧増毛小学校」(小林仁子さん)



学生の部入選「海を見つめる4人と 4人を見つめる動物」(芳賀友香さん)



学生の部入選「歴史あふれる小学校」(佐藤由奈さん)



入選「帰ったぞー!母ちゃん!」(山下ルミさん)



#### ● 町 章

限りない本町の発展を表現したもので、「増毛」の文字を形象化し、町民の団結と円満な明朗融和の精神を象徴しています。

#### ● 町名の由来

ニシンが群来ると海面一面に鴎が飛ぶところから、アイヌ語で「カモメの多いところ」という意味の「マシケイ」が転じたものであるといわれています。

#### ● 町の花 / サクラ (オオヤマザクラ)

バラ科サクラ属ヤマザクラの一種。

花弁が広く、淡紅色の花はヤマザクラより濃く美しく、新緑の山合いの中では、登山におとずれた人々の目を楽しませます。自然に恵まれた私たちの町を象徴する花です。



#### ● 町の木 / ナナカマド

バラ科ナナカマド属の落葉小高木。

春には爽やかな香りを放ち、秋には真っ赤な実を結びます。材質は堅く燃えにくいため、カマドに七度入れても灰にならないことから、この名がついています。北国に生きる私たちの粘り強さを表すにふさわしい木です。



#### ● 町の鳥 / カモメ(ウミネコ)

チドリ目カモメ亜科の海鳥。

他のカモメが冬鳥として飛来するのに対して、ウミネコだけは日本で繁殖します。白を基調とし青灰色と黒のコントラストが海の青さにマッチし、美しい海岸によく似合うカモメは、海を愛する増毛町民が大切にしている鳥です。



#### ●町の色 / 青 (vivid blue:ビビッドブルー さえた青)

※町の色・花・木・鳥 「昭和51年11月3日(告示第30号)指定]

#### ●町民の誓い (昭和52年2月1日制定)

わたくしたちは、美しくそびえる暑寒の連峰と無限に広がる日本海にいだかれた増毛町の住民です。 わたくしたちは、風雪に耐えて郷土を開いた先人の遺業をしのび、輝かしい歴史と伝統を受け継いで、この 町に住むことを誇りに思っています。

わたくしたちは、愛する郷土の発展を願い、より豊かな町づくりを目指して、ここに町民の誓いをさだめます。

- 1. からだを鍛え、仕事にはげみ、明るい町をつくります。
- 1. きまりを守り、力を合わせ、住みよい町をつくります。
- 1. 自然を愛し、環境をととのえ、美しい町をつくります。
- 1. 心ゆたかに、文化を高め美しい町をつくります。
- 1. 資源を生かし、未来をひらき、生きがいのある町をつくります。



#### 〈かもめのマーシー〈ん〉

増毛町のマスコットキャラクターとして、公募により 平成2年に誕生しました。 平成26年11月に商標登録しています。

增毛町町政要覧資料編 令和4年

令和4年3月

発 行: 北海道增毛町

編 集: 企画財政課企画係

電 話: 0164-53-1111 (代表)

0164-53-1110 (課直通)